

1421
134

大正八年五月

大正七年度業務功程

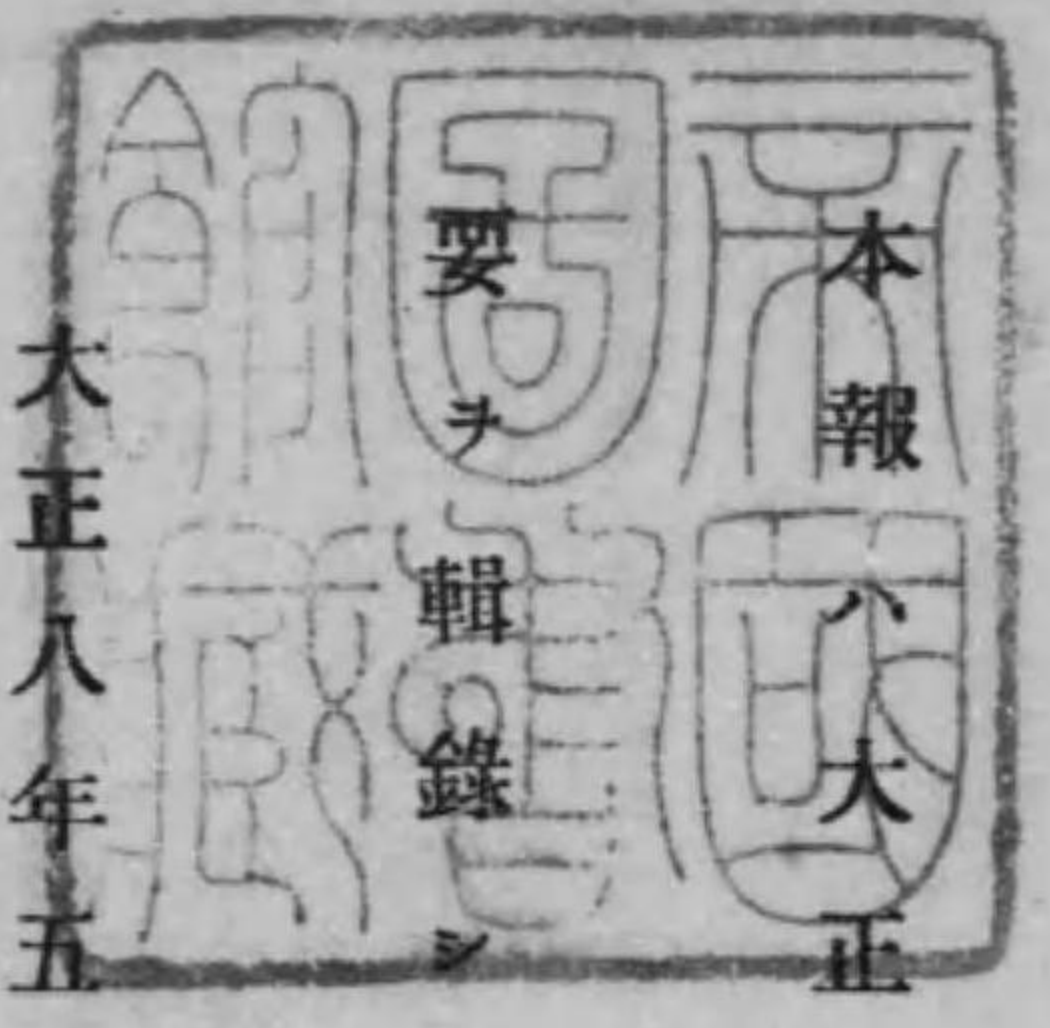
愛知縣立農事試驗場



始



134
14/24



大正八年五月

緒言

七年度ニ於ケル當場業務ノ概
タルモノナリ

愛知縣立農事試驗場



421
12/10



愛知県立農林部



大正七年度業務功程

種 藝 部

大正七年度ニ於ケル當部業務ノ梗概左ノ如シ

一、品種改良事業

主トシテ前年ニ繼續シ縣下ノ重要農作物タル水稻及麥類ノ優良ナル品種ヲ選擇育成シ之ヲ米麥原種圃ニ栽培増殖シテ廣ク縣下ニ普及セシメントセリ

甲米麥品種改良ニ關スル研究

水稻ノ部

一、品種比較試験 本試験ハ左ノ數様ニ分チテ之ヲ施行セリ

(イ) 主要品種比較試験 縣下ニ廣ク栽培セラレ、主要品種二十三種ニ就キ其特性收量ヲ比較セントス

ルモノニシテ本年度ノ成績ハ中稻器量好最モ優レ晩稻晚白笹之ニ亞ギ其他早稻ニテハ愛國、關取

中稻ニテハ三河錦、竹成、晩稻ニテハ彌七、神力、青笹、糯稻ニテハ神力糯等比較的良好ノ成績

ヲ見タリ

(ロ) 豫備品種試験 新ニ他ノ地方ヨリ取寄セタル品種ニシテ收量調査ノ必要アルモノ十五種ヲ供用セ

リ其成績ニヨレバ朝日、庄兵衛、愛媛神力、小新撰等ヤ、有望ト認メラレタリ

(ハ) 品種保存栽培 主要品種比較試験及豫備品種試験ニ供用セシ各種ノ純正ヲ保タンガ爲ニ各種二百

株宛一本植トナシ採種ニ供セリ

(ニ) 品種見本栽培 水稻品種研究上参考資料トシテ著シク珍奇ナル品種及全國著名品種等二十種ヲ栽

培セリ

二、純系淘汰試験 本試験ハ縣下ニ最モ廣ク栽培セラル、水稻品種ニ就キ優良ナル純系ヲ選抜シ原々種ヲ

育成セントスルモノニシテ左ノ順序ニヨリ施行セリ

(イ) 選抜圃 多年農家ノ栽培ニ係ル錯雜ナル在來種ヲ基本種トシ之ヲ一本植トシテ各株ヲ精細ニ觀

察調査シ善良ナルモノヲ多數選抜セントスルモノニシテ本年度ハ三河錦及雄町各六千株宛栽植シ

兩種中ヨリ各百二十株宛ヲ選抜セリ

(ロ) 系統比較試験 前年選抜圃ヨリ選抜セル神力百八系統器量好百八系統計二百十六系統ヲ百株宛栽

植シ各系統ニ就キ形質ノ優劣變異ノ大小ヲ調査比較シテ神力種二十八系統器量好種二十五系統計

五十三系統ヲ選出セリ

(ハ) 優系比較試験 系統比較試験ノ結果優良ト認メタル系統ニ就キ其收量ヲ比較シ最モ卓越セル系統

ヲ檢出セントスルモノニシテ本年度ハ神力十七、三河錦八、愛國八、竹成四、雄町四、計四十一

系統ヲ供用セリ本年度ノ成績ノ最モ優レルハ神力丁巳四號、三河錦戊午四號、愛國戊午一號、竹

成丁巳三號、雄町丁巳四號等ナリ

(ニ) 耐肥性比較試験 前試験ニ供用セル優系中多肥ニ耐エ得可ク認メタルモノニ就キ其程度ヲ試ミン

トスルモノニシテ本年度四系統ニ就キ行ヒタル成績ハ神力戊午七號最モ優リ神力丁巳四號之ニ亞

ケリ

(ホ) 各系統保存栽培 優系比較試験ニ供用セル各系統ハ別ニ二百株宛一本植トナシ集團淘汰ヲ加ヘテ

系統ノ純正ヲ保存セリ

(ハ) 原種保存栽培 原種ニ供用シツ、アルモノ又ハ原種ニ編入スベキ見込アル十八系統ヲ各六百株宛

一本植トナシ嚴密ナル集團淘汰ヲ加ヘテ之ガ純正ヲ保存スルニ努メタリ

(ト) 在來種保存栽培 純系淘汰ノ基本ニ供セシ在來種十七種ハ普通栽培トシテ之ヲ保存シ併セテ其收

量ヲ檢セリ

三、人工交配試験 本試験ハ人工交配ニヨリ優良ナル新品種ヲ育成セントスルモノニシテ左ノ順序ニヨリ

之ヲ行ヘリ

(イ) 交配 出穂ニ先チ或ル品種ノ雄蕊ヲ除去シ他ノ品種ノ花粉ヲ交配シテ稔實セシムルモノニシ

テ器量好×三河錦、朝日×竹成、神力×尾張坊主其他參考用二三ニ就キ行ヒタリ

四

(ロ) 第一代ノ育成 交配ヨリ得タル種子ハ最モ周到ノ注意ヲ以テ試植鉢ニ栽培スルモノニシテ本年度ハ前年交配ニ係ル神力×愛國、器量好×朝日、三河錦×澁皮千本其他參考用數種ヲ育成セリ

(ハ) 第二代調査 第一代ノ稻株ヨリ生シタル籾ハ成ルヘク多數播下シ之ヲ一本植トナシテ各株ノ特性ヲ調査シ分離ノ狀況ヲ檢ベ良好ナル形態ヲ備ヘタルモノヲ多數選出ス、本年度ハ神力×雄町、白玉×器量好、外ニ參考用五種ヲ供用シ神力×雄町千八百株中ヨリ百二十株ヲ、白玉×器量好千二百株中ヨリ百二十株ヲ選抜セリ

(ニ) 雜種系統比較試驗 第二代ヨリ選出セル系統ハ別々ニ栽培シテ之ヲ比較調査シ其形質固定セルモノ、中モ優良ナルモノヲ選出ス未ダ固定セザル系統ニ就テハ其中ヨリ良好ナル數株ヲ選抜シ本試驗ヲ反覆スルモノトス、本年度ニ於テハ器量好×萬歲(第四代)百八系統中ヨリ固定有望ト認メタルモノ五品種、神力×朝日(三代)百八系統中ヨリ全五品種ヲ選出シ三河錦×竹成(第三代)百八系統ニハ未ダ固定セルモノ無キヲ以テ其内ヨリ百二十株ヲ選抜セリ

(ホ) 新品種比較試驗 人工交配ニヨリ育成セル新品種ニ就キ特性收量ヲ比較セントスルモノニシテ本年度ハ農事試驗場畿内支場ニ於テ育成セル四品種、當場ニ於テ育成セル十一品種ヲ供用シタルガ其成績ハ梗ニアリテハ愛知晚稻十二號畿内晚稻十一號、愛知晚稻十一號、愛知晚稻五號糯ニアリ

テハ愛知糯稻二號優良ナリ

(ヘ) 新品種保存栽培 新品種比較試驗ニ供用セシ各品種ハ何レモ二百株宛一本植トナシ集團淘汰ヲ加ヘテ其純正ヲ保存セリ

(ト) 新品種委託栽培 人工交配(又ハ純系淘汰)ニヨリ育成セル新品種ノ各種風土ニ對スル適應性ヲ檢センガ爲メ縣内九ヶ所ニ委託栽培地ヲ設置シ一ヶ所一品種ヲ限リ試作ヲ行ハシメタリ、本年度ノ成績概要左ノ如シ

愛知晚稻十二號(三ヶ所)神力ニ比シ三四日早熟ニシテ稈強ク病害少ク收量多シ、只米質稍不良ナルト脱粒シ易キ欠点アリ、良質米ヲ産スル地方及病害發生地ニ有望ナルガ如シ
畿内晚稻三十四號(三ヶ所)熟期形態凡テ神力ニ酷似シ脱粒難ク病害少ク收量多クシテ米質良好ナリ沿海地方及病害發生地ニ有望ト認ム
神力丁巳九號(三ヶ所)形態普通神力ト大差無キモ稍小粒ニシテ腹白少シ、神力ニ比シ收量多カリシモノト少ナカリシモノトアリテ未ダ良否ヲ判定シ難シ

麥 部

一、品種比較試驗 本試驗ハ左ノ數樣ニ區分シテ施行セリ

(イ) 品種比較試験 從來試験ノ結果有望ト認メタル大麥、稗麥、小麥各八種計二十四種ニ就キ其特性收量ヲ比較シ縣下ニ適應スル優良品種ヲ選出セントスルモノニシテ其成績ハ大麥ニアリテハ谷風青チク、稗麥ニアリテハ香川、鬼稗、小麥ニアリテハ白坊主、白チク等優良ノ結果ヲ示セリ

(ロ) 豫備品種試験 各地ヨリ新ニ取寄セタル七種ニ付キ豫メ有望ノ有無ヲ査定セントスルモノニシテ本年度ニ於テハ有望ト認ムルモノ無カリキ

(ハ) 品種見本栽培 縣下ニ分布セル大麥四十一種稗麥二十三種小麥四十一種ヲ見本トシテ栽培シ品種研究上參考ノ資料ニ供セリ

二、純系淘汰試験 本試験ハ純系淘汰ノ方法ニヨリ縣下ニ廣ク普及セシムルニ足ルベキ優良原種ヲ育成セントスルモノニシテ左ノ二様ニ分チテ施行セリ

(イ) 選抜圃 多年農家ノ栽培ニ係ル錯雜ナル在來種ヲ基本トシ之ヲ一本植トナシテ各株ヲ精細ニ觀察調査シ良好ナル株ヲ多數選出セントスルモノニシテ稗麥コピンカタギ三千二百株、稗麥香川千六百株、小麥赤チク千六百株ヲ栽植シコピンカタギ七十八株、香川三十九株計百十七株ヲ選抜シ赤チクハ都合ニヨリ中途廢止セリ

(ロ) 系統比較試験 前年選抜圃ヨリ選抜セル多數ノ系統ヲ別々ニ栽培シテ各系統ニ就キ形質ノ優劣變異ノ大小ヲ比較スルモノニシテ大麥谷風四十一系統小麥赤チク四十一系統小麥中村四十一系統計

百二十三系統ヲ各七十五株宛栽植シ優良ト認メタル谷風十二系統、赤チク十二系統中村六系統計三十系統ヲ選出セリ

三、人工交配試験 本試験ハ人工交配ノ方法ニヨリ麥類ノ優良品種ヲ育成セントスルモノニシテ本年ノ着手ニ係リ谷風×改良、香川×谷風、香川×コピンカタギ、赤チク×中村ノ四組ヲ交配セリ

(乙) 米 麥 原 種 圃
水 稻 ノ 部

水稻原種圃ハ碧海郡六ツ美村ニ於テ九反歩(作付反別八反四畝十六歩内苗代跡六畝四歩)ヲ經營セリ、本年ハ生育中數回ノ暴風アリシモ幸ニ被害少ク優良ナル原種二十六石餘ヲ得タリ其各種作付反別配付數量ヲ示セバ左ノ如シ但シ配付數量ハ目下配付中ニ属スルヲ以テ豫定數量ヲ掲ク

品 種 名	作付反別	生 産 量	配 付 量		
			原種配付	普通配付	指定配付
神 力	三、九二五	一三、九四〇	三、一五四	一、五二三	三、一〇〇
器 量 好	〇、九二三	三、三八〇	〇、一五四	〇、六六六	〇、四二〇
三 河 錦	一、四二二	四、八〇〇	〇、五四六	一、四〇四	一、一三〇
竹 成	〇、四二六	一、五八〇	〇、一二〇	〇、二二九	〇、一三五
					計
					七、七七七

雄町	〇、四二三	一、三一五	〇、二〇八	〇、一四七	〇、三五五
愛國	〇、四二二	一、三六〇	〇、〇七六	〇、二二〇	〇、四一〇
計	七、八一	二六、三七五	四、二五八	四、一八九	五、一九五
此配付人員					一三、六四二
郡市農會	二〇				
個人		三八九			
團體				六九	

麥ノ部

麥原種圃ハ場内ニ於テ三反三畝十九步ヲ經營シ原種四石二斗二升二合ヲ得之ヲ縣ノ指示ニ隨ヒ縣下各郡市町村農會等ノ經營ニ係ル採種圃ノ原種ニ供給シ殘餘ハ公私團體又ハ當業者ノ請求ニ應ジ無償配布ヲナセリ其内譯左ノ左ノ如シ

品 種 名	作付反別	生産量	配 付 數 量		計
			原種配付	普通配付	
大麥改良	〇、六二八	一、〇一三	〇、五二五	〇、二二八	〇、七五三
全 谷 風	〇、五二八	〇、七七六	〇、七五二	〇、〇一五	〇、七六七
稗麥香川	〇、二二九	〇、三四八	〇、二五二	〇、一四四	〇、三九六
全コピンカタギ	〇、五二八	〇、七七〇	〇、一八〇	〇、〇八七	〇、二六七

小麥赤チク	〇、八二七	〇、九七〇	〇、八二九	〇、〇八五	〇、九一四
全 中 村	〇、二二九	〇、三四五	〇、〇一五	〇、一九七	〇、二二二
計	三、三二九	四、二二二	二、五五三	〇、七五六	三、三〇九
此配付人員					
郡市農會	二〇				
個人		一一五			
團體				五七	

右ノ外安城及清洲ニ於ケル番外圃ヲ利用シ縣下一部ニ對スル水陸稻優良品種早中晩十餘種ノ採種ヲ行ヒ一般當業者ニ無償配付ヲナセリ其數量配付人員左ノ如シ

水 稻 粳	七斗三升九合
全 糯	二斗六升一合
陸 稻	一斗〇六合

此配付人員個人團體百八十五

二、試驗事業

主トシテ前年ニ繼續シ縣下重要作物タル水陸稻麥類ニ就キ改良増殖ヲ圖ルノ目的ヲ以テ耕耘肥培病害蟲等ニ關スル試驗ヲ施行セリ而シテ水稻生育期中ノ天候ハ稍順調ヲ欠キ前後三回ニ亘ル暴風吹蕩シタルモ幸ニ

大ナル支障ナク概テ豫期ノ成績ヲ舉クルヲ得タリ今其試驗成績ノ概要ヲ摘記スレバ左ノ如シ

10

(甲) 水稻ノ部

- 一、豊凶考照試驗 本試驗ノ目的ハ早中晩各品種ヲ一定シ年々同一地ニ全一ノ耕種法ニヨリ栽培シ所定ノ時期ニ於ケル生育狀況ニヨリ其年ニ於ケル稲作ノ豊凶ヲ考照セントスルニアリテ生育期中數回行フ調査ニ基キ時々作況豫想ヲ發表セリ
- 二、耕耨ノ深淺ト肥料トノ關係試驗 本試驗ハ耕耨ノ深度ヲ異ニスル場合ニ於ケル硫酸アンモニヤ、鍊粕、堆肥等ノ地力ニ及ボス關係ヲ試ミ深耕ニ伴フ地力増進ガ稲作ノ增收ニ及ボス効果ヲ確メントスルニアリテ其本年度ノ成績ハ各肥料共耕耨ノ深サヲ増スニ從ヒ何レモ收量多ケレバ地力ニ及ボス關係如何ハ試驗施行ノ初年ニ屬スルヲ以テ判明セズ
- 三、生育ヲ異ニセル苗ノ比較試驗 本試驗ハ播種量、施肥量等ノ加減ニヨリ短小、徒長、分蘖等生育ヲ異ニセル苗ヲ育成シ插秧後ノ生育收量ニ及ボス影響ヲ確查セントスルニアリテ其成績ハ施肥量ノ普通ナル場合ニアリテハ標準苗(普通苗)收量最モ多ク分蘖苗之ニ次ギ短小苗ハ最モ劣レリ之レニ反シ施肥量ヲ増加シタル場合ニ於テハ分蘖苗收量最モ多ク標準苗之ニ次ギ短小、徒長苗ハ共ニ劣レリ
- 四、插秧法試驗 本試驗ハ一定面積ニ插秧ス可キ株數全一ナル場合ニ於テ株間ノ遠近長短ガ其生育收量ニ

- 及ボス影響ヲ確メントスルニアリテ一步當リ六十株植全九十株植ノ二様ニ區別シ施行セリ其成績ハ兩様共各區著シキ徑庭ナキモ概シテ正方形植收量多ク漸次長方形ノ度ヲ増スニ從ヒ減收ノ傾向ヲ呈セリ
- 五、株數對苗數試驗 本試驗ハ一定面積ニ栽植ス可キ苗數ヲ同一ニシ株數ヲ異ニセル場合ニ於ケル生育收量ニ及ボス關係ヲ確メンガ爲メ施行スルトコロニシテ其本年度ノ成績ハ一株ノ本數ヲ増加シ粗植スルヨリハ一株ノ本數ヲ減シ密植スル方漸次收量ヲ増加セリ
- 六、株數對施肥量試驗 本試驗ハ插秧ス可キ株間ノ一邊ノ距離ヲ同一ナラシメタル場合ニ於ケル株數ノ多少ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ確查セントスルニアリテ施肥量ヲ普通量、三割増、五割増ノ三様ニ區別シ施行セリ其本年度ノ成績ハ施肥量ノ多少ニ係ハラズ株數ノ多キモノ收量亦多ケレバ其差ハ著シカラズ殊ニ施肥量ノ多キ場合ニ於テ然リトス
- 七、無機肥料連用試驗 本試驗ハ無機肥料ニ屬スル硫酸アンモニヤ及石灰窒素ヲ連年施用スル場合ニ於テ之ニ若干ノ堆肥ヲ加用セルモノト否カラザルモノトノ土壤ノ性質並ニ稻ノ生育收量ニ及ボス影響ヲ試ミントスルニアリテ其成績ハ未ダ著シク無機肥料連用ノ害ヲ認メズト雖モ堆肥ヲ加用シタルモノト否カラサルモノトノ差ハ漸次多キヲ加ヘツ、アリ
- 八、堆肥施用量試驗 本試驗ハ堆肥施用ノ適量並ニ之ガ連續施用ニヨル地力増進ノ程度ヲ試ミントスルニアリテ其成績ハ堆肥施用量ノ増加ニ伴ヒ收量亦多ク其適度ヲ見出スニ苦メリ而シテ地力ニ及ボス影響

如何ハ試驗開始以來日尙ホ淺キナ以テ未ダ顯著ナラズ

一一

九、紫萁英施用量試驗 本試驗ハ紫萁英施用量ノ多少ガ稻ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ試ムルト共ニ連年施用ノ場合ニ於ケル地力ニ及ボス操作ヲ確メントスルモノニシテ本年ハ各區共無窒素ニテ栽培シ地力増進ノ程度ヲ檢セリ其成績ハ前年ニ於ケル紫萁英施用量ノ増加ニ伴ヒ收量亦増加シ地力増進上ノ效果稍著シキヲ認ム

10、稻二化螟虫一化期被害軽減試驗 本試驗ハ苗ノ大小、施肥及插秧ノ時期ヲ異ニスルニヨリ螟虫一化期ノ被害ヲ軽減シ得ルヤ否ヲ知ランガ爲メニシテ大苗六月二十日植全日施肥、小苗六月二十日植全日施肥、小苗六月二十日植七月十日施肥、小苗六月二十七日植全日施肥、小苗六月二十七日植七月十日施肥、小苗七月五日植六月二十日施肥ノ六區ニ分チ施行セリ其成績ハ小苗六月二十日植七月十日施肥以下各區共被害少ナカリシモ其相互間ノ差ハ判明セズ

二、稻二化螟虫二化期被害軽減試驗 本試驗ハ灌水ニヨリ螟虫二化期ノ被害ヲ軽減シ得ル效果ヲ知ランガ爲メニシテ深水區淺水區斷水區ノ三區ニ分チ施行セリ其成績ハ灌水深キニ從ヒ被害少ナキガ如シ

三、螟虫被害莖摘採試驗 本試驗ハ二化期ニ發生スル被害莖ヲ摘採スル效果ノ程度ヲ知ランガ爲メニシテ被害多キ區、被害少キ區、標準區ノ三區ニ分チ施行シタルニ其成績著シク摘採ノ效果ヲ認メタリ

三、二化螟虫被害莖摘採影響試驗 本試驗ハ稻ノ開花期ニ際シ螟虫被害莖摘採ノ爲メニ植生ニ及ボス影響

ヲ確メシガ爲メニシテ早稻愛國種ニ就キ三四拔取區、三回擬拔取區、五回拔取區、七回拔取區、標準區ノ五區ニ分チ施行セリ其成績ハ判明ナラズ

二、二化螟虫ニ關スル調査

一、發蛾期ノ調査 五月上旬ヨリ九月下旬ニ至ル間當場稻田ニ毎夜誘蛾燈一個ヲ点シ毎朝之レニ集來セシ螟蛾ヲ檢シ之ガ發生時期狀態ヲ調査セリ

二、加害期調査 普通耕種法ニヨリ插秧ヨリ收穫ニ至ル迄五日目毎ニ被害莖ヲ切取り被害莖數並ニ該莖ニ對スル螟虫ノ棲息狀態ニヨリ加害時期ヲ調査セリ

(乙) 畑夏作ノ部

一、陸稻豊凶考照試驗 本試驗ハ水稻全試驗ト同シク所定ノ時期ニ於ケル生育狀況ニヨリ其年ニ於ケル陸稻ノ豊凶ヲ考照セントスルニアリテ生育中行フトコロノ調査ニ基キ時々作況ヲ發表セリ

二、大豆品種試驗 本試驗ハ縣下各地ニ栽培セラル、品種中前年ノ豫備試驗ニ於テ比較的優良ト認メタルモノノ白大豆二十種着色大豆十種計三十種ニ就キ其收量品質ノ良否ヲ比較シ優良品種ヲ選出セントスルノ目的ニ出テタルモノニシテ其本年度ノ成績ハ白大豆ニアリテハ晚大豆、鼠大豆着色種ニアリテハ茶大豆、青大豆、最モ收量多シ

- 三、大豆純系比較試験 本試験ハ前年ノ遺傳力試験ニ於テ優良ト認メタル十七系統ニ就キ生産力ノ多少品質ノ良否ヲ比較セントスルモノニシテ其成績ハ十六號、八號、一號、三號等最モ收量多キ結果ヲ示セリ
- 四、大豆播種期試験 本試験ハ播種ノ早晚ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ確メ播種ノ適期ヲ見出サンガ爲メニシテ六月三十日ヨリ七月二十日迄五日毎ニ播種試験セリ其成績ハ七月五日播種最モ收量多ク六月三十日播之レニ次ギ以下播種期ノ遅ル、ニ從ヒ收量ヲ減セリ
- 五、大豆播種量試験 本試験ハ播種量ノ多少ト生育收量トノ關係ヲ確メ播種ノ適量ヲ見出サンガ爲メニシテ一株一粒ヨリ五粒迄五區ニ分チ施行セリ其成績ハ三粒播收量最モ多ク五粒播ハ最モ劣レリ
- 六、大小豆連作試験 本試験ハ大小豆ヲ連作セントスル場合最モ有効ナル方法ヲ見出サンガ爲メニシテ石灰、藁灰、木灰等ノ加用及隔年栽培等ノ數區ニ分チ施行セリ其本年度ノ成績ハ石灰ノ加用木灰ノ加用最モ効果著シキヲ認メタリ
- 七、無機肥料連用試験 本試験ハ麥作全試驗ノ跡ヲ享ケ無機肥料連用ノ地力ニ及ボス關係ヲ確メシテ本年ハ無肥料ニテ大豆ヲ栽培セリ其成績ハ前作麥ト畧同様ニシテ智利硝石、石灰窒素、硫酸アンモニヤ三者共ニ加里肥料ヲ藁灰ニテ供給セルモノ豫メ石灰ヲ加用シタルモノ收量多ク之レニ反シ加里肥料ヲ硫酸加里ニテ補給セルモノハ著シク劣レリ殊ニ硫酸アンモニヤ區ニ於テ然リトス

- 八、堆肥効驗試驗 本試験ハ堆積肥料ノ効果並ニ之ガ連續施用ノ地力ニ及ボス關係ヲ確メシテ冬作麥ノ後ヲ享ケ無肥料ニテ甘藷ヲ栽培セリ本年度ノ成績ハ堆肥施用ノ効果著シク硫酸アンモニヤ練粕區共ニ堆肥ヲ併用セシモノハ收量多ク否ラザルモノハ著シク劣レリ殊ニ硫酸アンモニヤヲ施用シタルモノニ於テ然リトス
- 九、大豆心喰虫豫防試験 本試験ハ大豆ノ心喰虫來襲豫防上ナフタリン、タール合劑外四種ノ藥劑ノ効果ヲ知ランガ爲メ行フトコロニシテ本年度ノ成績ハ區々ニシテ判明セズ

(丙) 畑冬作麥ノ部

- 一、豊凶考照試験 本試験ハ年々同一地ニ同一ノ耕種法ニヨリ大小稈麥各三種宛ヲ栽培シ一定ノ時期ニ調査セル生育狀況ニヨリ其年ニ於ケル麥作ノ豊凶ヲ豫察セントスルモノニシテ時々ノ調査ニ基キ其作況ヲ發表セリ
- 二、播種期對施肥量試験 本試験ハ播種期ノ早晚ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ確メシテ施肥量ヲ普通量、二割半増、五割増、倍量ノ四様ニ區別シテ施行セリ其成績ハ概シテ播種期ノ早キモノ收量多ク播種期ノ後ル、ニ從ヒ收量ヲ減シ且品質モ劣レリ而シテ肥料増加ニ伴フ增收ノ割合モ早播ニ多シ
- 三、播種量對施肥量試験 本試験ハ施肥量ヲ異ニセル場合ニ於ケル播種量ノ多少ガ其生育收量ニ及ボス關

係ヲ確メシテ其本年度ノ成績ハ施肥量ノ多少ニ係ハラズ播種量ノ多キモノ收量亦多キ結果ヲ示セリ

四、篩土及割土試験 本試験ハ篩土及割土ノ効果如何ヲ査定セシメシテ施肥量ヲ普通量、五割増、倍量ノ三様ニ區別シテ施行セリ其本年度ノ成績ハ稍區々ニ亘ルノ嫌ナキニアラザルモ篩土ハ効驗比較的著シキガ如シ

五、不良土壤ト肥料トノ關係試驗 本試験ハ當場圃場ノ一部ニ存スル麥ノ生育不良ノ土壤ニ對シ施肥料トノ關係ヲ確メ生育ヲ佳良ナラシムル方法ヲ見出サントスルニアリテ其本年度ノ成績ハ明瞭ナラズ

六、小麥品種對施肥量試驗 本試験ハ從來試驗ノ結果優良ト認メタル品種ニ對シ肥培ノ程度ヲ確メシテ赤チク、中村、カスミ、畿内小麥五號ノ四種ヲ供用シ施行セリ其本年度ノ成績ハ各品種共肥料ノ増加ニ伴ヒ收量亦多クシテ就中赤チク、畿内小麥五號ハ增收歩合特ニ多シ

七、堆肥施用試驗 本試験ハ堆積肥料施用ノ限度並ニ連續施用スル場合ニ於ケル地力ニ對スル關係ヲ確メシテ其成績ハ堆肥ノ施用量ヲ増加スルニ從ヒ收量亦増加スレバ反當六百貫以上施用セシモノハ其施用量ニ伴フ增收ニアラズ而シテ地力ニ及ボス影響ハ未ダ著シカラズ

八、堆肥効驗試驗 堆積肥料ノ效果並ニ連續施用ノ地力ニ及ボス關係ヲ試シメシテ併用肥料ヲ硫酸アンモニヤ、鯨粕トシ大正二年度以降連續施行セリ本年ハ供試品種ヲ大麥ニ變更シ且ツ無肥料ニテ栽

培セリ其成績ハ堆肥ヲ加用セサル硫酸アンモニヤ區ハ生育著シク不良ニシテ殆ント皆無ニ等シク之レニ反シ堆肥ヲ加用セシモノハ生育佳良ニシテ堆肥加用ノ効驗著シキヲ示セリ

九、無機肥料試驗 本試験ハ無機肥料タル硫酸アンモニヤ、智利硝石、石灰窒素ノ三者ニ對シ加里ヲ塩基性並ニ酸性ノ肥料ニテ補給シタル場合ノ効驗並ニ之ガ連續施用ノ地力ニ及ボス關係ヲ確メシテ其成績ハ前年ト等シク二者共ニ加里肥料ヲ塩基性タル糞灰ニテ補給セシモノ最モ好結果ヲ呈シ之レニ反シ酸性タル硫酸加里ヲ以テシタルモノハ一般ニ不良ナリ就中硫酸アンモニヤ區ニアリテハ全ク生育セサルニ至レリ

(丁) 麥芽用大麥ノ部

麥芽用大麥試驗ハ農商務省ノ委託ニ係ルモノニシテ前年ニ引續キ左記試驗ヲ施行セリ

一、品種試驗 本試験ハ麥芽用トシテ優良ナル品種ヲ選出セントスルノ目的ニ出テタルモノニシテ從來試驗ノ結果比較的優良ト認メタルモノ十五種ニ就キ其特性收量品質ノ良否ヲ比較セリ其本年度ノ成績ハ佛一號ミツケルフランキウ、インピンシーブル、フェルスト、ハンナ等優良ナリ

二、肥料ノ種類對施用量試驗 本試験ハ形態ヲ異ニセル窒素質肥料ノ施用量ノ多少ガ其生育收量品質ノ良否ニ及ボス影響ヲ確メシテ其本年度ノ成績ハ各肥料共其施用量ヲ増加スルニ從ヒ收量多クシ

石灰加用試験 本試験ハ石灰ノ効驗並ニ施用ノ適量ヲ確メシガ爲メ施行セルモノニシテ其成績ハ石灰ヲ加用スルニ從ヒ收量多クレハ三十貫以上ニアリテハ其增收歩合少ナシ而シテ品質ハ石灰加用量ニ係ハラズ大差ナシ

四、播種期對播種量試驗 本試験ハ播種期ヲ異ニセル場合ニ於ケル播種量ノ多少ガ其收量品質ニ及ボス關係ヲ確メントスルニアリテ其成績ハ播種期ノ早キ場合ニ於テハ比較的薄播ノモノ收量多ク晚播ノ場合ニアリテハ稍厚播ノモノ優良ナリ而シテ品質ハ概シテ早播ノモノ優良ナリ

五、畦巾對施肥量試驗 本試験ハ畦巾ヲ異ニスル場合ニ於ケル施肥量ノ多少ガ其生育收量ニ及ボス影響ヲ確メントスルニアリテ其本年度ノ成績ハ畦巾ノ廣狹ニ係ハラズ施肥量ノ多キモノ何レモ收量多ク而シテ肥量増加ニ對スル增收程度ハ畦巾ノ廣キ場合ヨリモ却テ狭キ場合ニ多シ而シテ畦巾ノ廣クシテ施肥量ノ多キモノハ品質不良ノ嫌アリ

六、磷酸及加里肥料加用試驗 本試験ハ磷酸質及加里質肥料多用ノ收量品質ニ及ボス影響ヲ試ミンガ爲メニシテ其成績ハ磷酸、加里兩者共ニ多用セルモノハ收量多ク就中磷酸ノ加用ハ其効果著シキヲ認ム

七、雜種比較試驗 本試験ハ當場ニ於テ人工交配ニヨリ創作セル新品種十六種ニ就キ其生育收量品質ノ良否ヲ比較セシガ爲メニシテ其本年度ノ成績ハビール麥×フルトン二八六號全一九七號全二三六號及シ

ユワンハルス×フルトン八五號、全一三八號、全五九號等比較的優良ナリ而シテ各種共窒素ノ含量稍多キニ失スルノ嫌アリ

以上ハ安城ニ於テ施行セシ試驗並ニ其ノ成績ノ概要ナルガ尙ホ清洲圃場ニ於テモ左記試驗ヲ施行セリ

水稻ノ部

清洲種藝部

一、品種試驗 本試験ハ從來試驗ノ結果主要品種ト認メタル二十三種ニ就キ其特性收量品質ノ良否ヲ比較セシガ爲メ施行セシモノニシテ其本年度ノ成績ハ梗ニアリテハ器量好、神力、竹成、大和錦、黃笹、糯ニアリテハ神力糯、永田糯比較的優良ノ結果ヲ示セリ

二、苗比較試驗 本試験ハ其目的安城ニ於ケル全試驗ト等シク短小苗、徒長苗、分蘖苗、普通苗等ニ就キ其生育收量ヲ比較セシガ爲メ施行セシモノニシテ其成績ハ施肥量ノ少ナキ場合ニアリテハ標準苗最モ優良ニシテ分蘖苗、短小苗之レニ次ギ施肥量ノ多キ場合ニアリテハ分蘖苗第一位ヲ占メ徒長苗、標準苗之レニ次ケリ

三、綠肥施用ニ關スル試驗 本試験ハ紫萹英、苜蓿、野草、青刈大豆等ノ綠肥ニ對シ合理的ニ配合施用シ其有利ナルヲ實際ニ示サンガ爲メニシテ其成績ハ綠肥ハ何レモ金肥タル鍊粕ニ優リ著シク當業者ノ留

意ヲ喚起セリ

四、本數對株數試驗 本試驗ハ一定面積ニ栽植ス可キ苗ノ本數同一ナル場合ニ於ケル株數ノ多少ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ確メシテ其本年度ノ成績ハ施肥料ノ如何ヲ問ハズ概シテ株數ノ多キモノ好結果ヲ呈セリ

五、新品種比較試驗 本試驗ハ當場及農事試驗場畿内支場ニ於テ人工交種ノ方法ニヨリ新タニ創作セル五種ノ品種ニ就キ其特性收量ノ多寡ヲ比較セントスルモノニシテ本年度ノ成績ハ畿内晚稻十七號愛知晚稻十三號最モ優良ノ結果ヲ示セリ

六、純系比較試驗 本試驗ハ當場ニ於テ純系分離ノ方法ニヨリ選出セル神力種ノ純系五種ニ就キ其收量品質ノ良否ヲ比較セリ其ノ成績ハ丁巳九號第一位ヲ占メ全十三號全四號之ニ次ギ在來神力種ハ最モ劣レリ

七、插秧期對施肥量試驗 本試驗ハ插秧ノ早晚ニ對スル施肥量ノ多少ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ確メシテガ爲メニシテ插秧期ヲ六月二十日、六月三十日、七月十日施肥量ヲ普通量、二割増、五割増ノ各三樣ニ區別シ施行セリ其本年度ノ成績ハ施肥量ノ如何ニ係ハラズ六月二十日植最モ收量多ク漸次插秧期ノ遅ル、ニ從ヒ減收セリ

八、窒素質肥料比較試驗 本試驗ハ縣下ニ於テ最モ廣ク施用セラレ、窒素質肥料ニ就キ其効驗ヲ比較セン

ガ爲メ施行スルトコロニシテ本年度ハ鶏糞、練粕、硫酸アンモニヤ効驗多ク棉實粕ハ最モ劣レリ

薯 苔 ノ 部

一、純系分離試驗 本試驗ハ從來栽培シ來リタル五種ノ混系種ニ就キ優良ナル純系ヲ分離選抜セントスルモノニシテ各品種共百數十株ヲ栽培シ各三十株宛ヲ選抜シバラフィン紙ヲ以テ種子ヲ覆ヒ採種セリ

三、養 蜂

縣内養蜂業者ニ對シ採蜜ヲ主トセル飼養管理ノ一般方法ヲ示サシガ爲メ前年ニ引續キ外國種ノ蜂群數箱ヲ飼養セリ

臨時農具試驗

本年度ニ於テハ試驗設備トシテ新ニ「ドリリングマシン」及風力計ヲ増設シ前年度ノ繼續試驗ノ外ニ特ニ試驗室ニ於テ人力用及ヒ動力用ノ脱穀機ヲ發案創製シ試驗ノ結果稻ノ外麥其他ノ雜穀ヲモ完全ニ脱粒シ特ニ稻及麥ノ如キハ從來ノ千齒式ノモノニ比シ數倍ノ効程ヲ有スルヲ確認スルヲ得タルニ據リ今後脱穀機ニ關シテハ特ニ此種ノモノヲ大ニ奨勵セントス亦副業品展覽會ノ協贊事業トシテ當場ニ於テ農具陳列會ヲ開催シ營業者ヨリ農具及農家副業用器具機械ヲ出品セシメ之レヲ實地ニ運轉シ尙當場ニ有スル各種參考農具

及試験設備ヲ公開シテ觀覽セシメ同時ニ農具試驗ニ關スル印刷物ヲ配布シ改良農具ノ普及獎勵ヲ計レリ

試驗事項

一 粉摺器	種類試驗	六
一 全	構造試驗	一〇
一 全	依類試驗	五
一 脫穀機	種類試驗	二二
一 全	構造試驗	三
一 全	依類試驗	八
一 唐箕	全	二
一 萬石籠	全	一
一 除草器	種類試驗	三五
一 全	構造試驗	四
一 全	依類試驗	二
一 犁	種類試驗	一六

一 全	依類試驗	三
一 苗代田捕蟲器	種類試驗	八
一 全	構造試驗	四
一 全	依類試驗	二
一 試驗成績證明書下附		
一 質問應答		
一 農具陳列會ニ關スル質問應答		
		一〇八
		三八一

園藝部

本年度ノ事業ハ多ク前年度ヲ繼續施行シタリ果樹園ニアリテハ創設以來今ヤ十七星霜ヲ經過シタレハ樹姿何レモ完成シ追植ノ外ハ結果成期ニ達シ結實至極良好ナリシガ夏季ヨリ初秋ニ渡リ三回ノ暴風アリテ落果シ枝葉及果實ヲ損傷シ爲メニ發育ヲ阻害シ袋ノ破損ハ害虫ノ被害多ク其結果市價ハ相當高價ナリシモ收量ハ豫定ノ半額ニモ達セザリキ桃ノ穿孔病ハ昨年度同様被害甚シク梨ノ姬心喰ハ前記ノ如ク袋ノ破損多カリシヲ以テ多大ノ加害ヲ蒙リタリ尙本年度ニ於テ一號園桃及二號園桃及梨「キーフハー」ハ成績既ニ判明シタレハ全部堀取り前者ニ於テハ梨ノ經濟試驗ヲ行フベク從來ニ於テ成績優良ナル品種ヲ植付後者ニハ梨

ノ新品種ヲ新植シタリ蔬菜園ニアリテハ夏作及秋作共何レモ成績良好ニシテ就中秋作ニアリテハ近來稀ナル好成绩ニシテ市價亦高ク豫期以上ノ収入ヲ擧ゲヨリ
 從來商品陳列館ニ於テ經營シタル温室ハ昨年度限り廢止トナリタレバ温室内ノ植物ハ過半本場温室ニ移轉シ其結果室内ニ一段ノ光彩ヲ添ユルニ至レリ
 高等園藝ニアリテハ各種共成績良好ニシテ一般參觀者ニ對シ園藝趣味ヲ鼓吹シタルコト亦尠ナカラズ其他月刊雜誌園藝彙報ヲ五月ヨリ發刊シ或ハ講話講習印刷物ノ刊行等極力普及ニ勵メタリ
 以下本年度ニ於ケル事業ノ大要ヲ示スベシ

一、試驗事業

一、桃ノ品種試驗

早生種、桃栽培上早生ノ良品種ニ乏シク之レヲ撰擇スルハ刻下ノ急務ニシテ昨年度及本年度ニ亘リ全國各地ノ優良品種ヲ蒐集栽植シタレバ逐年良成績ヲ擧グルヲ得ベク從來試驗中ノモノニテ「ヴィクトル」種ハ六月中旬ニ熟シ果少シク小ナルノ欠点アルモ豐産ナレバ收利多シ珠將軍「トライアンブ」
 「ドミラルブユウエー」ハ七月上旬ニ成熟シ相當ニ豐産ナルモ該種ハ黃肉種ニシテ甘味少ナク生食用トシテハ適當セザルモ鐘詰用ニ適ス尙天津水蜜桃ハ品質不良ナルモ收利割合ニ多シ

中生種、其品種甚マ多ク就中早生水蜜桃、離核水蜜桃、「カルマン」土用水蜜桃ノ如キハ七月二十日前後ニ熟シ樹勢強健豐産品質優良ニシテ收利多キ營利的品種トス
 晩生種、晩生種トシテ上海水蜜桃ノ外營利的品種ニ乏シク何レニシテモ晩生種ハ八月ニ至リ成熟スルモノナレバ西瓜類等ノ出荷多キヲ以テ概シテ桃果ノ需要ヲ減退シ收利割合ニ少ナキヲ普通トス

二、梨ノ品種試驗 供試ノ品種ハ和洋兩種ヲ合シテ四十餘種ニシテ逐年増植シタル品種アルモ未ダ結實期ニ達セズ

本年度ニ於ケル成績ニ鑑ミ從來ノ成績ヲ綜合シ收量ノ多寡品質等ヲ對照比較スルトキハ左記品種ノ如キ最モ營利的品種トス

- | | | |
|-----|-----|---------------------|
| 日本種 | 早生種 | 市原早生、眞 銚 |
| | 中生種 | 長十郎、二十世紀、太 白 |
| | 晩生種 | 重次郎、晩三吉 |
| 西洋種 | | |
| | | ハートレット、ドクトルジュールギユヨー |

市原早生ハ早生種トシテ最モ豐産顆形大ニ最大一個八十匁ニ達シ收利多ク有望ノ品種トス然レモ甘

味及漿液少ナク品質ニ於テ稍劣ルノ欠点アリ長十郎ハ各種中最モ豊産營利的品種トシテ之レニ匹敵スルモノナシ然レモ自花受精ノ不可能ナルモノナレバ混植ニ注意スルコト肝要トス二十世紀ハ品質在來中ノ霸王タルモ病虫害多キヲ以テ防除ニ注意スベク太白ハ樹勢強健品質良好豊産ナリ其他早生種トシテ優良ノ聞ヘアル博多青晚生種トシテ土佐錦ノ栽植シアルモ未ダ結實ノ期ニ達セズ

洋梨トシテハ前記二種ヲ除クノ外ハ優良ト認ムルモノ少ナク元來本場ハ土地豊沃洋梨ノ栽培トシテハ腐爛病多ク到底望ナキヲ以テ今秋大府柑橘試験地ノ一反歩ニ於テ品種試験ヲ行フベク二十有餘種ヲ定植シタリ該地ハ土質瘠薄ニシテ洋梨ノ栽培ニハ好適ナレバ完全ノ成績ヲ擧グルヲ得ベシ

三、葡萄ノ品種試験

本年度ハ數度ノ暴風ノ爲メ果粒ノ損傷或ハ袋ノ破損等ヨリシテ其成績不良ナリキ供試ノ品種ハ三十二種トシテ從來ノ成績ヲ綜合シ營利的品種ト認ムルモノ左ノ如シ

- 早生種 セツシカ(白) デラウエアー(赤) キヤムベルスアーリー(黒)
- 中生種 プライトシ(赤) レデーワシントン(白) ナイヤガラ(白) カトーバ(赤)
- 晚生種 ハイランド(黒)

「セツシカ」ハ樹性强健病害少ナク品質良好ナルモ果粒及果穗小ニ收量餘リ多カラザルモ早生種トシテハ相當ノ品種トス「デラウエアー」種ハ植後三年目ニシテ未ダ充分ノ成績ハ判明セザルモ品質佳良結實良好ナレバ今後極メテ有望ナルモ「キヤムベルスアーリー」「レデーワシントン」「ナイヤガラ」

何レモ營利的品種トス「プライトシ」ハ品質各品種中最モ優良市價高キモ皮部極メテ薄ク破損シ易ク遠地ヘノ輸送ハ望ナク且又自花受精ノ不完全ナルモノナレバ他種トノ混植ヲ忘ルベカラズ

四、柿ノ品種試験

本場土質ノ柿栽培ニハ適當セザレモ周到ノ注意ヲ行フノ結果結實極メテ良好ナルモ本年ハ暴風ノ爲メ袋ヲ破損シ爲メニ害虫ノ被害多ク半數ノ落果ヲ見タリ其成績ノ良好ナル品種ハ左ノ如シ

- 甘柿 富有、次郎、天神御所、御殿、花御所、伽羅、正月、甘百目
- 澁柿 横野、大四溝、蜂屋、會津不知身

前記ノ各種ハ何レモ營利的優良ノ品種ニシテ御殿柿ハ四年前京都ヨリ接穂ヲ取寄セ高接ヲナシ本年初メテ結實シタルニ早生豊産ニシテ品質又相當ナレバ新品種トシテ最モ有望ニシテ大四溝モ本年初メテ結實シタルモノニテ該種ハ非常ニ豊産ニシテ果形餘リ大ナラザルモ核子ナク三河ノ山間部等ニ於テ最モ有望ナルベシ

本年ハ縣下ハ勿論全國ヲ通ジテ柿ノ成績不良市價未曾有ノ高價ニテ富有柿五、六十匁ノモノ一顆十五六錢以上ニシテ結果ノ少ナキ割合ニ栽培者ハ意外ノ收入ヲ擧グルヲ得タリ縣下ニ於ケル柿ノ品種ハ何レモ劣悪ナルモノノミナリシガ逐年良品種ヲ栽培シ年々産額ヲ増加シツ、アルハ慶スベキコト、ス

五、枇杷品種試験

昨冬以來非常ノ嚴寒ナルニモ拘ラズ霜覆ニ注意ヲシタレバ豫期以上ノ好成绩ニシテ就

中成績ノ良好ナルハ田中及茂木ノ兩種ニシテ殊ニ前者ハ收量多ク殊ニ田中ハ未熟ニ於テ收穫スルトキハ稍々酸味多クレバ完熟シテ收穫スルコト肝要トス茂木ハ甘味多キモ炭疽病ノ被害稍々多シ

六、整枝試験 整枝試験ハ前年度ニ於ケルト同様ニシテ桃ハ盃狀形尤モ宜シク其他ノ方法ハ漸次下枝ノ枯損シ結實少ナキノ弊アリ梨ハ棚作最モ良好ニシテ果形整一品質良好ニシテ殊ニ本年ノ如キ數度ノ暴風ニ於テ他ノ整枝ハ落果多ク自然形ノ如キハ一類テモ止メザルモノアリシモ棚作ハ落果極メテ少ナク此ノ点ヨリスルモ梨ノ整枝ハ今後棚作ヲ採用スルヲ最モ得策トス其他ノ方法ハ特殊ノ場合ヲ除キテハ實行セザルチ可トス葡萄ハ棚作ニ於テ最モ豐産果房大ニシテ熟期均一收量最モ多ク垣作ハ棚作ニ比シ稍劣ルモ營利的整枝トシテハ適當セザルニアラズ從テ兩者何レヲ採用スルモ差岡ナカルベシ然レモ發育旺盛ナル甲州「カトーバ」ノ如キハ島メテ棚作トナスチ得策トス其他ノ種類ニアリテハ何レモ盃狀形又ハ自然形ヲ以テ成績良好トス

七、嫁接苗木定植時期試験 嫁接後ノ定植時期ハ活着及發育ニ如何ナル關係ヲ有スルカチ知ランガ爲メニ左ノ方法ニヨリ試験ヲ施行シタリ

- (一) 嫁接後直チニ定植シタルモノ
- (二) 嫁接後二日間砂中ニ埋メ定植シタルモノ
- (三) 嫁接後五日間砂中ニ埋メ定植シタルモノ

(四) 嫁接後一週間砂中ニ埋メ定植シタルモノ

(五) 嫁接後十日間砂中ニ埋メ定植シタルモノ

八、極心噴除試験 袋掛藥劑等各種ノ試験ヲ行ヒタルモ數度ノ暴風ノ爲メ完全ニ成績ヲ擧グルコト能ハザリシハ遺憾トス

九、花粉交媒試験 桃ノ新品種育成ノ目的ヲ以テ左記ノ品種ヲ以テ花粉ヲ交媒シ成熟シタル果實ヲ收穫目下貯藏シアレバ三月ニ至リ播種ノ豫定ナリ

雄 雌

- グイクトル 早生水蜜桃
- グイクトル
- グイクトル
- コンネットサウザリンアーリー
- 天 津
- エルハルタ
- 上海水蜜桃
- コンネットサウザリンアーリー

一〇、蒴子品種試験 從來ノ試験ニヨリ優良ト認ムル八品種ニ更ニ新品種五種ヲ加ヘ試験ヲ行ヒタルニ其結果收量ノ多キハ橘田、南方桔紫、矢原等ニシテ品質色澤形狀優良ニシテ將來有望ト認メタルハ橘田、

古河、真黒、雜種三十三號ノ四種トス

三〇

- 二、茄子交媒試験 本試験ハ從來優良ト認メタル品種ニ付キ更ニ夫等ノ欠点ヲ改良セシガ爲メニ花粉ノ人工媒助ヲ行フモノニシテ本年度ニ於テハ橘田對矢島及橘田對三島ノ兩種ニ付キ交媒ヲナシ採種シタルハ二月頃下種翌年度ニ於テ成績ノ如何ヲ試験スルモノトス
- 三、茄子純系選出試験 本試験ハ縣下ニ於テ廣ク栽培スル橘田茄子ニ付キ優良ナル純系ヲ選抜シ以テ原々種ヲ育成セシガ爲メニシテ本年度ニ於テ優良ナルモノ二十餘顆ヲ撰拔採種シタリ
- 三、茄子連作試験 本試験ハ本年度初メテ行ヒタルモノニシテ其目的ハ連作ヲ忌ム茄子ニ對シ木灰、石灰、石灰窒素等ヲ加用シ其分量ノ多少ガ連作ニ如何ナル關係ヲ有スルカヲ調査スルモノニシテ本年ハ初年ノ事ナレバ單ニ普通栽培ヲナシタルニ過キズ
- 四、胡瓜品種試験 供試ノ品種十三種ニシテ收量及形狀品質良好ニシテ收利多キハ在來種、馬込、庄内、刈羽節成ノ順序トス
- 三、胡瓜交媒試験 從來ノ成績優良ナルモノニ付キ其欠点ヲ補足改良シ優良新品種ヲ育成セシガ爲メニ在來節成種ノ多産早生ナルモ色澤不良ニシテ變色早キノ欠点ヲ有スレバ之レガ改良ヲ行フベク在來節成ヲ青節成ニ交媒シタルモノト青節成ヲ在來節成ニ交媒シタルモノトナ行ヒ採種シタルハ翌年栽培其結果ノ如何ヲ判明ナラシムベシ

一六、蕃茄品種試験 供試ノ品種ハ十一種ニシテ色澤形狀良好ニシテ收量多ク營利的栽培ニ適當スル種類ハ

「アーリエストオアオール」「ジュンビング」「ベストオアオール」ノ三種ヲ以テ最モ適當トス

一七、甜瓜品種試験 青梨瓜、棗瓜、梨瓜其他數種ヲ試験シタルニ棗瓜最モ豊産ニシテ收利多ク梨瓜之レニ次ギ青梨瓜ハ晩生ニシテ樹性強健瓜守ノ被害少ナク晩生種トシテ有望ナリ洋種ハ何レモ草性軟弱ニシテ病虫ノ被害多ク望アルモノナシ

一八、瓜守豫防試験 瓜守ノ發生甚シク年々其被害激甚ニシテ之レガ適當ノ豫防法ハ目下ノ急務ニシテ本年度ハ左記方案ニヨリ試験ヲ行ヒタリ

- (一)「ペボライド」ヲ根元ニ撒布シタルモノ
- (二)大正式驅虫劑ヲ根元ニ撒布シタルモノ
- (三)「ナフタリン」ヲ根元ニ撒布シタルモノ
- (四)河砂ヲ「コールター」ニ浸シ根邊ニ撒布シタルモノ
- (五)驅虫用粉煙草ヲ根元ニ撒布シタルモノ
- (六)「シークル」ヲ松葉ニ浸シ根邊ニ立テ置キタルモノ
- (七)「パリスグリン」液ヲ葉部ニ撒布シタルモノ
- (八)油紙ヲ根邊ニ布キ置キタルモノ

(九) 河砂ヲ根元ニ布キ置キタルモノ

(一〇) 新考案陶器製皿ヲ以テ根元ヲ包圍シタルモノ

右ノ内成績ノ最モ良好ナルハ陶器皿ヲ以テ根元ヲ包圍シタルモノニテ大部分ハ被害ヲ免カレタリ次テ「ナフタリン」大正驅虫劑ヲ使用シタルモノ稍々良好ニシテ其他ノ方法ハ効力至テ少ナシ

一九、里芋品種試験 收量ノ最モ多キハ神戸種ニシテ八ツ頭之レニ次ギ海老芋最モ少ナシ各種一反歩ノ收量ハ次ノ如シ

神戸	千百十貫
八ツ頭	九百二十貫
早生芋	九百十四貫
海老	七百八十貫

二〇、枝豆品種試験 從來種々ノ品種ニ就キ試験シタルモ營利的良品種ナク本年新ニ五品種ニ付キ試験シタルニ早生枝豆、最良好ニシテ黒魁、黒目大莢之レニ次ギ何レモ有望ト認ム

三、南瓜品種試験 供試ノ品種ハ十二種ニシテ收量ノ最モ多キハ三毛門、神戸、更級等ニシテ品質ノ優良ナルハ「シキ」西京、往生寺ト此等各種ノ一反歩ノ收量ヲ示セバ

三毛門	八百五十貫
神戸	七百五十貫
更級	六百四十貫
西京	五百五十貫
往生寺	五百三十貫
「シキ」	五百二十貫

三、南瓜整枝試験 本試験ハ南瓜ノ整枝法ガ其收量ニ如何ナル影響ヲ及ボスモノナルカラ試験セントスルモノニシテ其設計左ノ如シ

- (一) 無 整 枝
- (二) 摘心四枝ヲ出シタルモノ
- (三) 四枝ヲ出シ結果後二節目ニテ摘心セシモノ
- (四) 四枝ヲ出シ結果後四節目ニテ摘心セシモノ
- (五) 二枝ヲ出シ結果後二節目ニテ摘心セシモノ
- (六) 二枝ヲ出シ結果後四節目ニテ摘心セシモノ

右ノ試験成績ニヨレバ第四第五ノ兩區收量最モ多ク第一區之レニ次ギ其他ハ何レモ收量少ナシ

三、夏蒔甘藍肥料試験 適當ナル施肥量ヲ試験センガ爲メニシテ種類ハ「サクセツション」野崎早生ノ兩種

ナ用ヒ各種共普通肥料ノ一割増二割増五割増ノ肥料ヲ施シタルニ其結果ハ「サクセツション」種ニアリテハ一割増區收量最モ多ク五割増區之レニ次ギ三割増區最モ少ナク野崎中生種ニアリテハ五割増區最モ多ク三割増一割増之レニ次グ

二、甘藷品種試驗 甘藷品種ノ優劣ヲ試驗シ縣下ニ獎勵スベキ標準品種ヲ撰定センガ爲メニ各郡ニテ栽培スル品種ヲ蒐集シタルニ其數二十五種ニ達シ本年ハ插秧ノ時期不同ナレバ完全ニ收量ノ如何ヲ知ルコト能ハザレバ只特性調査ニ止メ翌年正確ナル試驗ヲナシ以テ優劣ヲ比較シ獎勵品種ヲ決定スベシ

三、方領大根純系選抜試驗 一般ニ栽培セラル、方領大根ニ就キ優良ナル純系ヲ選抜シ原々種ヲ育成センガ爲メ一畝十五歩ノ栽培ヲ行ヒ精細ニ觀察調査シテ善良ナル母本十餘本ヲ選抜セリ

三、宮重大根種子ノ產地ヲ異ニセルモノ、發育及品質ニ及ボス關係試驗 縣下ニ於ケル主ナル生産地八ヶ所ヨリ種子ヲ蒐集シテ之ガ栽培ヲ行ヘリ其成績ニ依レバ宮重大根トシテノ特徴ヲ最モヨク具備セルハ西春日井郡春日村宮重産ニシテ中島郡明治村及葉栗郡葉栗村ノ兩産之レニ次グリ收量ニ於テハ葉栗郡葉栗村産最モ多ク丹羽郡丹陽村中島郡稻澤町ノ兩産之レニ次ギ宮重産ハ第六位ニアリ然レドモ宮重大根トシテノ特徴、品質、收量等ノ諸点ヨリ考查スル時ヘ又宮重産ヲ以テ優良ト認ム

三、午旁品種試驗 生育中ニ就キ成績未ダ判明セズ

三、葱品種試驗 前年ニ引續キ五種ニ就キ試驗セシニ收量及品質ニ於テ最モ良好ナルハ砂村根深太葱ニシ

テ越津葱之レニ次グリ

三、花椰菜品種試驗 「野崎種」「マクナムボナム」「アーリースノーボートル」「アーリーパリス」ノ四種ニ就キ施行セリ其結果ニ依レバ發育、收量共ニ良種ナリシハ野崎種ニシテ他ノ洋種ハ成育不良ニシテ完全ノ收穫ヲ得ザリキ

三、宮重大根純系選抜試驗 優良ナル純系ヲ選抜シ原々種ヲ育成センガ爲メ五畝歩ノ栽培ヲ行ヒ精細ニ觀察調査シテ善良ナル母本百餘本ヲ撰抜セリ

三、蕪菁品種試驗 供試品種八種中收量及品質ニ於テ最モ優良ナリシハ大治、湖南ノ兩種ニシテ聖護院、近江等之ニ次グ

三、結球白菜品種試驗 供試品種六種中收量ノ最モ多キハ芝罘白菜ニシテ水府、愛知等之ニ次グ然レドモ品質ノ優良、結球ノ容易ナルハ愛知白菜ヲ以テ第一トス

三、春用大根品種試驗 供試ノ五品種中成績良好ナルハ春福大根ニシテ春若大根之レニ次ギ他ハ成績宜シカラズ

三、宮重大根品種試驗 多年栽培ノ結果生シタル變種、五品種ニ就キ試驗シタルニ割干用大根、氏永大根等收量最モ多ク普通宮重大根之ニ次グ而シテ用途上ヨリ云ヘバ市場用トシテハ純系宮重大根ヲ可トシ加工用トシテハ氏永、割干用等ヲ以テ良好トス

三、宮重大根ノ採種法ヲ異ニセル種子ノ發育及品質ニ及ボス關係試驗試驗區別左ノ如シ

一、採種室ニヨリ採種セシモノ

二、母本栽植ニヨリ採種セシモノ

三、直播ニヨリ採種セシモノ

右ノ中收量ノ最モ多キハ第二區ニシテ第三區之レニ次ギ第一區下位ニアリ然レドモ根形整正ニシテ肉質佳良ナルハ第一區ニシテ第二區第三區之レニ次グ要スルニ原々種用トシテハ第一法ヲ可トシ普通栽培用トシテハ第二法ニヨリ採種スルヲ適當ト認ム

三、宮重及方領大根ノ種子新舊試驗 大正五年度六年度及七年度ノ三種ニ就キ試驗ヲ行ヘリ其結果ニ依レバ宮重方領共七年度種子發芽良好ニシテ九割内外六年度種子ハ七割内外五年度種子ハ三割内外ニ過ギズ、收量及品質ノ良好ナルモ亦七年度種子ニシテ六年度種子ハ收量ニ於テ約二割減ヲ示シ品質ニ於テ肉質甚メ堅密ノ觀アリシハ奇觀ト云フベシ尙五年度種子ニアリテハ收量約三割減ニシテ品質粗軟ナリ
三、白菜ノ品種ト下種期試驗 愛知及芝罘ノ兩種ニ就キ八月二十三日、八月二十八日、九月十日ノ三區ニ分チ行ヘリ其結果最モ良好ナルハ八月二十三日ニシテ八月二十八日之レニ次ギ九月十日ハ成績最モ不良ナリ要スルニ白菜ニアリテハ事情ノ許ス限リ早蒔ノ方成績良好ナリトス
三、蕪菁肥料用量試驗 供試品種大治蕪菁ニシテ試驗區別ハ普通標準量ノ一割増、二割増、三割増、五割

増ノ四區ニ分ツ其結果ニ依レバ成績最モ良好ナルハ三割増區ニシテ五割増區之レニ次グ即肥料ノ増加ニ伴ヒ收量ヲ増加スルモ餘リ多量ノ施肥ハ莖葉繁茂ニ過ギテ根部ノ成育宜シカラザル觀アリ
三、促成栽培試驗 本年度ニ於ケル促成栽培ニ對スル試驗ハ左記ノ通りニシテ茄子ハ播種試驗ヲ除キテハ十一月二日ニ下種シ蕃菽モ同様十一月二日ニ下種シ目下苗ノ養成中ニテ其他ハ一月頃ニ播種スベク各種何レモ二月中旬頃定植ノ際ニ於テ試驗ヲ施行スル豫定トス

(一) 茄子植付本數對剪定試驗

(二) 茄子品種試驗

(三) 茄子植付方法試驗

(四) 茄子用土配合試驗

(五) 茄子播種期試驗

(六) 茄子肥料試驗

(七) 茄子肥料施用方法試驗

(八) 越瓜、蕃菽、菜豆、鵲豆、「マスキメレン」ノ試作

四、「マスキメレン」品種試驗 供試ノ品種ハ十種ニシテ最モ成績優良ナルハ「ユニバーサル」及「ベストオブオール」ノ兩種ニシテ「エーワン」「クングリーター」之レニ次ギ顯ノ大ナルハ「ユニバーサル」ニシ

テ最大一個七百匁ニ達シ市價ハ六月下旬一貫匁十七圓ニシテ從來斯カル高價ニ販賣シタルコトナク七月五、六圓八月三圓内外九月ニ至リ四、五圓ノ價格ヲ保チタリ

二、温室葡萄種類試験 供試ノ品種ハ五種類ニシテ植後五年生ノ本年度ニ於ケル收量及收入左記ノ如シ

品 種 名	總房數	全收量	一貫匁ノ市價	總收入
フォスターシードリング	一六	九五六	七、〇〇	六、六九二
ブラツクハムボルグ	一九	一、〇九六	八、〇〇	八、七六八
マスカットオブアレキサンドリヤ	一五	六三〇	一〇、〇〇	六、三〇〇
グローコルマン	九	一、〇一七	八、〇〇	八、一三六
ゴールデンクイン	二	二一七	一〇、〇〇	二、一七〇

備考 右ハ各一本ニ對スル最多收量ヲ示シタルモノナリ

「フォスターシードリング」ハ早生ニシテ結實良好ナルモ品質餘リ良好ナラザルト果粒ノ小ナル爲メ收量ニ於テ少ナキノ欠点アリ「ブラツクハムボルグ」ハ樹性強健至極豐產品質ハ餘リ優良ナラザルモ收利比較的多ク營利的栽培ニ適シ「マスカットオブアレキサンドリア」ハ受精作用不完全ナレバ開花當時ニ注意スベシ品質ハ各種中最モ優秀ニシテ市價甚ク高ク「グローコルマン」ハ其收量ニ於テ之レニ匹敵スルモノナク味亦佳良ナリ何レニシテモ此等四品種ハ營利的栽培ニ適當スルモ其他ノ品種ハ盛ナ

キモノトス

温室葡萄ノ販路ハ東京及京阪地方ニシテ本場産ハ全部東京へ出荷セリ

二、果樹園ノ整理及管理

一號園桃一反歩ハ植後十五年以上ヲ經過シ成績判明シタレバ十一月全部ヲ掘取リ其跡地ニ昨年以來養成シ置キタル梨苗木ヲ十二月中旬定植シタリ該園ハ梨ノ棚作トナシ品種ハ從來ノ試験成績ニ鑑ミ營利的品種ヲ撰擇シ以テ經濟上ノ試験ヲ行ハントス且又二號園桃及「キーフハー」鳳尾狀桃等何レモ古木トナリ結果能力少ナキヲ以テ全部掘取リ鳳尾狀ノ跡ハ梨ノ「コルドン」整枝トナシ其他ハ「カンデラブル」及「ホリグンタール」整枝ニシテ何レモ梨ノ新品種ヲ植付種類試験對整枝法ノ試験ヲ行フヲ以テ目的トス各種共前年度三月上旬施肥ヲナシ四月ヨリ六月ニ涉リ病虫ノ發生最モ盛ナル時期ニハ各種ノ藥劑ヲ使用シ之レガ防除ニ易メ摘果袋掛ヲ行ヒ五月ヨリ七月ニ亘リ綠枝剪定ニ注意シ各種ノ收穫ヲ行フト同時ニ種々ノ調査ヲナシ產品ヲ市場ニ販賣シ夏季ハ數度ノ除草ヲ行ヒ冬期剪定ハ接穗用ヲ除キ十二月中旬ヨリ初メ下旬ニ終了ス此ノ際練習生見習生ニ對シ懇切指導ヲナシタル枝梢及落葉ハ全部蒐集燒却ス棚作及整枝果樹ハ腐朽シタル柱及竹ヲ取換ヘ葡萄ハ外皮ヲ剝脱シ其他ノ古木ハ叮嚙ニ幹部ヲ磨擦古皮ヲ剝除シ以テ潜伏セル害虫ヲ驅除シ然シテ土壤ノ風化作用ヲ促進セシムルト同時ニ害虫驅除ノ目的ヲ以テ園内一面ヲ耕起シ病虫害驅除

豫防ノ爲メニ果樹全部ニ亘リ石灰硫黄合劑ヲ撒布ス

本年度ニ於テハ歐州戰乱ノ影響ヲ蒙リ勞銀高騰シ人夫拂底ニテ各種作業ノ延滞ヲ來シ甚ダ困難ヲ感ワタリ

三、輪栽標準栽培

全面積二反八畝步ヲ二十四區ニ割シ各區ヲ一畝步トシ七年、五年、三年輪栽ニ別チ輪作ノ方法並ニ栽培ノ標準ヲ示シ且經濟上ノ調査ヲナサントスルモノニシテ之レニ栽培スル蔬菜ハ縣下ノ重要ナルモノ及試驗ノ結果優良ト認メタル品種ヲ以テセリ本年度栽培セルモノ左ノ如シ

四〇

七年輪栽

區別	冬作	春作	夏作	秋作
第一區	麥	西瓜	愛知白菜	
第二區	麥	茄子	春福大根	
第三區	大高菜	夏葱	若午勞	十月蒔甘藍
第四區	甘藍	胡蘿蔔		麥
第五區	麥	甘藷(玉蜀黍)		宮重大根
第六區	葱頭	青芋		漬物大根

第七區 蠶豆 五月蒔甘藍 麥

五年輪栽

第一區	麥	梨	方領大根	麥
第二區	麥	薑		麥
第三區	葱頭	薑		麥
第四區	麥	蕃茄	開城白菜	十月蒔甘藍
第五區	甘藍	葱	芝罘白菜	麥

三年輪栽(甲)

第一區	麥	小蕪菁	南瓜枝豆(間作)	小蕪菁、小蕪菁
第二區	麥	小松菜	鵲豆、玉蜀黍(間作)	セルリ、蒿苳(間作)
第三區	麥	早生里芋	美濃早生大根	蒺藜草、蒿苳

三年輪栽(乙)

第一區	麥	蕃茄	茄	蒺藜草
第二區	胡蘿蔔	葱		麥

四一

第三區

麥

越瓜

芝罘白菜

以上ノ外石刁柏、土當歸、欸冬ノ累年作物ヲ栽培比較ス

四、委託試驗及採種地

果樹ノ委託試驗地ハ前年度限り全部廢止シ本年度存續セルモノハ左ノ如シ

芹及「オータークレス」ノ栽培試驗 西春日井郡六郷村

委託採種地ニ於ケル委託ノ種類及塲所ハ次ノ如シ

宮 重 大 根 西春日井郡春日村大字落合

方 領 大 根 海部郡甚目寺村大字方領

早生方領大根 西春日井郡新川町字小塲塚

大 治 蕪 菁 海部郡大治村大字長收

開 城 白 菜 中島郡祖父江町大字三丸淵

午 勞 丹羽郡古知野町大字両高屋

胡 蘿 蔔 同 郡布袋町大字寄木

愛 知 白 菜 愛知郡荒子村字中須

梨

瓜

全 郡笠寺村大字鳴尾

甘 藍

西春日井郡清洲町大字清洲

以上ノ採種地ハ何レモ委託種類ノ本塲トシテ其栽培盛ニシテ母本ノ植換ニ際シテハ一々技術員ヲ派遣シ綿密ニ撰擇ヲナシ以テ優良種子ヲ採收シ別項ノ如ク縣下ノ請求者ニ交付セリ

五、柑 橘 園

知多郡大府町ニ柑橘試驗地ヲ設置シタルハ大正五年其面積三反歩ニシテ内一反歩弱ハ植後十五年乃至十八年生ノ温州蜜柑ニシテ植栽ノ距離狭ク樹齡ニ相違アレバ到底試驗ヲ行フコト能ハザレバ模範作トナシ周到ノ手入ヲナス他ノ二反歩ニハ各種ノ柑橘ヲ定植ス越ヘテ昨年度三反歩ヲ増設シ今春二反歩ヘハ温州、ネーアル、夏橙「バレンシアレイト」ヲ定植シ残り一反歩ニハ今秋西洋梨ヲ植付タリ此等既植物ニ對シテハ培養手入ニ周到ノ注意ヲ拂ヒ兩年度ノ嚴寒ニモ拘ラズ發育至極良好ニシテ五年度ニ新植シタル温州蜜柑ハ樹形相當ニ整ヒ結果シ初メタルヲ以テ今年秋期ヨリ左記試驗ヲ行フコト、セリ

(一) 品種試驗

(二) 肥料用量試驗

(三) 加里質肥料試驗

四 區

三 區

(四) 磷酸質肥料試験 三 區
 (五) 施肥時期試験 四 區

摸範作ノ温州蜜柑ハ結果頗ル良好ニシテ十一月廿八、九兩日ニ於テ全部ヲ收穫ス其收量次ノ如シ

上 品		下 品		計	
個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量
六、〇四九	一五五、八〇〇	一一、二五四	二二五、八八〇	一八、三〇三	三七一、六八〇

六、花壇 及 花卉

前年度ニ於ケルト殆ンド同様ニシテ前年度三月上旬ニ花壇全部ニ植付タル各種ノ和洋草花ハ四、五月ニ至リ美花爛漫トシテ一段ノ光彩ヲ添ヘ又三月ニ播種シタル春蒔種ハ數度ノ換植ヲナシ晚春花壇ニ定植シ夏季ニ至リ嬌媚ノ美ヲ誇リ一層ノ風致ヲ添ヘ夏季苗圃ニ養成シ置キタル小菊及「アキラリタス」ヲ再ビ其跡地ニ植付終年花卉ノ絶ヘマ様周密ノ注意ヲナシ且又秋蒔種子ハ苗圃ニ下種シ今ヤ整然植付テ了シ發育可良ナリ此等各種ノ種子ハ全部採收シ別項記載ノ如ク縣下ノ請求者ニ配布シ殘苗ハ賜メテ一般ニ交付シタリ

七、温 室

第一號室ニ於テハ歐州葡萄ノ種類試験ヲナシ植後五年目ニシテ結實頗ル良好顯穂ノ累々トシテ下垂シ非常

ノ美觀ヲ呈ス第二號室ニハ各種ノ觀賞植物花卉類ヲ栽培シ終年美花爛漫トシテ參觀者ノ注目ヲ引キ第三號室ニハ三月下旬蕃茄及胡瓜ヲ定植シ夏季ヨリ初秋ニ亘リ二回ノ「マスクメルン」ヲ栽培シ四號室ニ於テハ二回ノ「マスクメルン」ヲ栽培シ片屋根室甲號ニハ胡瓜及ビ「マスクメルン」ヲ乙號ニハ花卉類ヲ栽培シタリ温室内ノ加温不充分ニシテ冬期作物ノ栽培不可能ナレバ十一月中旬ヨリ修繕ニ取掛リ十二月上旬終了シ其結果三、四ノ二號室丈ニ加温ノ出來得ル機設備シタリ

八、苗 圃

場外果樹苗圃三反歩ニ對シ嫁接又ハ挿木ヲナシ養成シタル本數左ノ如シ

	嫁接本數	活着本數
梨	二、一四四	一、九二〇
桃	五、六三八	二、六七二
葡萄	四、四六九	三、三二〇
梅	二、六三〇	二、二七〇
枇杷	三〇〇	二〇〇
計	一五、一八一	一〇、三七二

此等ノ苗木ハ夏季數度ノ除草施肥ヲナシ十一月中旬大部分落葉シタルヲ以テ掘探請求者ニ交付ス且又苗圃狹隘ナレバ柿ノ接穂ハ中島郡千代田村八木戀三郎、服部盛三郎ニ養成ヲ依託シ六種千七百本ヲ養成シタリ

九、種苗配布

本年度ニ於テ配布シタル種類及數量左ノ如シ

(一) 果樹苗木

種類別	配布本數	場用
桃	二、一九八	四七四
葡萄	二、二五〇	一、〇六〇
梅	二、二六五	五
梨	七八〇	一、一四〇
枇杷	二〇〇	
秋播蔬菜種子	二五〇	瓜 一〇〇

豌豆	九五	蠶豆	八五
胡蘿蔔	一〇〇	葱	七五
葱頭	一二〇	蘿蔔	八〇〇
甘藍	三〇〇	芥菜	二五
愛知白菜	六〇〇	蕪菁	三〇〇
午勞	一〇〇		

以上十二種 二千九百五十袋

(三) 秋蒔花卉種子

種類	袋數	種類	袋數
蔓櫻草	一三〇	パンジー	一四二
金魚草	八〇	デヂ	一五〇
花菱草	八五	シヤスターデヂ	一六〇
フルツクス	一四二	リナリヤ	九〇
金箋花	七五	矢車草	七〇
罌粟	一五五	虞美人草	一五〇

スギートビー
以上十七種

一千五百三十四袋

二〇

カンパニユラ

八五

四八

化 學 部

本年度ハ多クハ前年度ノ繼續ニシテ即チ石灰窒素、石灰三要素適量及窒素、磷酸ノ肥効歩合等ヲ水稻、麥ニツキ圃場、木樞、土管又ハ植木鉢ニヨリ調査研究シタルト一般ノ依頼ニ係ル肥料ノ農産物、土壤ノ分拆ヲ行ヘリ又施肥標準調査ハ栽培試験及土壤分拆共前年ニ比シ著シク増加セリ

一、試 驗 事 項

(大正六年麥作及大正七年稻作)

一、三要素適量試験 水稻及麥ニツキ本場土壤ニ對シ三要素ノ適量ヲ知ランガ爲メニ圃場試験ヲ繼續施行セリ

(一) 麥作(第五年)ニアリテハ窒素ハ二貫五百匁又ハ三貫匁區ヲ第一トシ磷酸區ニアリテハ二貫匁區最モ優良、加里區ニアリテハ二貫匁區最モ優レリ之レヲ前年度ノ最多肥區最モ優良ナルニ比シ幾分異ナル成績ナリキ

(二) 稻作(第五年)ニアリテハ窒素區ハ三貫匁區死米多ク品質稍ヤ不良ナリシモ最モ優良(前年度ハ二

貫五百匁區最良)磷酸區ニアリテハ三貫五百匁區ハ收量多キモ二貫匁及二貫五百匁ノ兩區モ三貫五百匁區ニ比シ玄米收量ニ於テ五舛少ナキニ過ギザレハ此兩區ヲ最良トスルテ適當トスベク(前年度ハ二貫五百匁又ハ三貫匁區最良)加里區ニアリテハ一貫五百匁區ヲ優良トス(前年度ハ不明)

二、石灰ニ關スル試験 水稻及麥ニ對スル石灰ノ効驗ヲ考究シ其連用ガ作物ノ品質並ニ土壤ノ性質ニ如何ナル影響ヲ及ボスカチ知ラントシ圃場ニ於テ石灰加用試験ヲ行ヘリ

(一) 麥作(第五年)ニアリテハ石灰反當六十貫區最モ收量多ク品質ハ三十貫六十貫ノ兩區良好ニシテ市價ハ石灰ノ用量ト相反セリ尙化學試験ノ成績ハ石灰ノ用量ト一定ノ關係ヲ見出ス能ハザリキ

(二) 稻作(第六年)ニアリテハ(甲)紫萮英ニ石灰ヲ加用シタル區ハ收量ニ於テハ六十貫區最モ優リ九十貫區之レニ次ギ三十貫區更ニ之ニ次グ即チ前年度ノ九十貫區最良ナル成績ニ比シ稍ヤ異ナレリ玄米ノ市價ハ石灰多量區寧ロ高ク品質ハ無石灰最モ劣リ他ハ區別シ得ズ尙化學試験ノ成績ハ殆ド差異ナシ(乙)大豆粕ニ石灰加用區ハ收量ニ於テハ前年度ト同様九十貫區最モ優リ三十貫區之レニ次グ玄米ノ市價ハ紫萮英ノ場合ト同シク石灰多量區ホド高ク品質ハ九十貫六十貫ノ兩區良好化學試験ノ成績ハ大差ナシ

三、石灰窒素ニ關スル試験

(一) 石灰窒素ノ施用法ニツキ麥作試験(第四年)ヲ年々行ヒシモ成績區々アレバ更ニ繼續施行シタルニ

本年度ハ寒害ヲ被ルコト著シク又鳥害モ甚ナカラザリシカバ收量ヲ比較シ得ザリキ

(二) 水稻ニ對シ石灰窒素ノ肥効ヲ硫酸アンモニニアニ比較セントシ(甲)有機質ヲ多量ニ有スル肥料即チ堆肥米糠ト施用シタル場合(乙)此ノ肥料ニ多量ノ石灰ヲ加用シタル場合ニツキ圃場試驗(第二年)ヲ繼續施行セリ石灰窒素區ハ石灰無加用區ニアリテハ硫酸區ニ比シ收量ニ於テ劣リ玄米一舁量屑米糶ノ收量ニ於テハ殆ソド等シク石灰加用區ニアリテハ石灰窒素區ノ方硫酸區ニ優レリ之レ前年度ト全ク相反スル成績ナリキ

(三) 水稻ニ對シ石灰窒素ヲ大豆粕ニ比較シ其ノ元肥トシテノ效果ヲ明カニセントシ(甲)共通肥料トシテ過磷酸石灰、糞灰、堆肥、硫酸ヲ用ヒタル場合(乙)共通肥料トシテ甲ノ堆肥ヲ欠ケル場合ニツキ本年ヨリ圃場試驗ヲ施行セリ其ノ成績ハ石灰窒素區ハ其ノ收量ニ於テハ兩區共大豆粕區ニ優リシモ品質ニ於テハ劣リ特ニ堆肥加用區ニ於テ甚ダシカリキ

(四) 水稻ニ對シ石灰窒素施用後ノ操作並ニ共通肥料ノ施用時期ガ生育收量ニ如何ナル影響ヲ及ボスカヲ究メントシ石灰窒素ヲ插秧十五日前ニ施シ堆肥、糞灰ヲ施用シ其儘トナスモノ直ニ打起スモノ又十五日前ニ施シ五日前堆肥、糞灰ヲ施スモノ等六區ヲ設ケテ考究シタリ其ノ成績ハ石灰窒素ヲ施シ其ノ儘トスルハ宜シカラズ直ニ打起スヲ可トスルモ堆肥糞灰ヲ同時ニ施スハ不可ナル如シ尙繼續試驗セントス

尙土壤ノ種類ト石灰窒素ノ分解ノ遲速ヲ生育收量ノ狀況ヨリ知ラントシ三、四土壤ニツキ稻麥ニ對シ「ポット」試驗ヲ行ヘリ麥作ニアリテハ施用期ハ收量ニ關係ヲ及ボサマル如キ成績ナルモ作柄一般不良ナリシカバ石灰窒素ノ肥効ヲ呈スルコト極メテ少ナカリシニヨルナラシ稲作ニアリテハ土壤ニヨリ分解ノ著シク異ナルコトヲ示シ豊川町土壤ノ如キ插秧當時ハ被害著シキモ收量ニハ大ナル影響ナキモノアリキ

四、紫萇英對磷酸加用試驗(第五年)水稻ニツキ紫萇英ニ對シ過磷酸石灰ノ加用ガ米ノ品質收量ニ如何ナル効果ヲ及ボスカヲ究メントシ圃場試驗ヲ行ヘリ本年度ノ成績ハ其收量ニ於テハ何等效果ヲ認ムル能ハズ品質ニ於テモ差異少ナシ尙化學試驗ノ成績ハ磷酸ノ用量ト明カナル關係ナカリキ

五、窒素ノ有効歩合査定試驗 年々引續キ木框ヲ用ヒテ稻及麥ニツキ主要ナル窒素肥料ノ有効歩合ヲ査定セントスルモ其歩合區々ニシテ未ダ確定シ得ザレバ更ニ繼續施行セリ
(一) 麥作ニアリテハ前年度ハ鍊粕、大豆粕ハ硫酸ニ優リシモ本年度ハ硫酸智利硝石ハ最モ大ニシテ鶏糞最モ劣レリ

(二) 稻作ニアリテハ供試肥料ヲ大豆粕、鍊粕、鶏糞、硫酸アンモニア、ノ四種トシ三個ヲ以テ一區トシ正確ヲ期セントセリ其ノ成績ハ鍊粕最モ大ニシテ大豆粕又ハ硫酸之レニ次ギ鶏糞最モ劣レリ
六、磷酸ノ有効歩合査定試驗 木框ヲ用ヒテ稻及麥ニツキテ施行シツ、アルコト窒素試驗ニ同シ

(一) 麥作ニアリハ過磷酸石灰ハ最モ大ニシテ米糠之レニ次ギ骨粉最モ劣リ前年ニ比シ米糠、骨粉ハ効驗大ナル如キ成績ナリキ

(二) 稻作ニアリテハ過磷酸石灰ハ最モ大ニシテ米糠、骨粉ノ順序チナシ前年ノ骨粉ハ米糠ニ優レル成績ト異ナレリ尙被吸收歩合ハ何レモ前年ニ比シ著シク多シ

七、特種土壤ノ改良試驗 南設樂郡千鄉村附近ノ腐殖土ニツキ「ポット」ヲ用ヒ繼續施行シタルモ本年度ハ小麥作ニ對シ石灰ヲ更ニ施用シ磷酸ヲ倍量トシテ之レガ効果ヲ知ラントセリ其ノ成績ハ石灰及磷酸ハ特ニ必要ナルヲ知レリ

八、大豆粕ノ肥効試驗 水稻ニ對シ(第四年)漂白大豆ヲ普通大豆粕ニ比較セントシ圃場試驗ヲ繼續施行セリ其ノ成績ハ漂白大豆ハ元肥ノ場合ハ大豆粕ト殆ト同様ナルモ追肥ノ場合ハ稍劣レリ今四ヶ年ノ玄米反當收量ヲ示サバ

標準區	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	四ヶ年平均
普通大豆粕區	二、三二四	二、二八五	二、〇七七	一、九一三	二、一五〇
漂白大豆粕區	二、六四一	二、六四五	二、五〇六	二、二八八	二、五二〇
普通大豆粕追肥區	二、六一四	二、六二八	二、三六八	二、二九四	二、四七五
普通大豆粕追肥區	二、四八八	二、七一六	二、三五三	二、一八八	二、四三六

漂白大豆追肥區 二、五〇〇 二、六五四 二、二九六 二、〇七五 二、三八一

即チ大体ニ於テ漂白大豆ノ方劣レリ

九、濱土ノ肥効試驗 水稻ニ對シ(第四年)土管ヲ用ヒテ濱土ノ肥効ヲ堆肥ト比較セントシテ既ニ三ヶ年施行シタルモ本年更ニ繼續シテ其ノ肥効ヲ考究シタリ其ノ成績ハ大豆粕ヲ主肥トシタル場合(大豆粕、過磷酸石灰、木灰ヲ共通トス)ハ濱土ハ少量區ニ於テハ堆肥區ニ優リ多量區ニ於テハ之レニ劣レリ又硫酸ヲ主肥トシタル場合(硫酸アンモニヤ、過磷酸石灰、硫酸加里ヲ共通トス)ハ堆肥ニ優レリ尙四ヶ年ノ成績ヲ示サンガ爲メニ粗ノ收量ヲ標準區ヲ一〇〇トシタル割合ヲ以テ表セバ

大豆粕ヲ主肥トス	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	平均
一、標準區	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
二、濱土少量區	一〇八	一一五	一一六	一〇九	一一二
三、全多量區	一一八	一一〇	一一三	一〇五	一一一
四、堆肥少量區	一〇二	一一三	一二六	一二三	一一六
五、全多量區	一一二	一二二	一二〇	一二〇	一一八
六、標準區	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
七、濱土區	一一二	一一五	一一二	一二六	一一六

八、^{確安ヲ主肥トス}堆肥 區

一〇三 一二六 一一〇 一一五 一一三

五四

之レ等ノ成績ヨリ濱土ハ其ノ窒素ヲ堆肥ト同量トシテ大豆粕、過磷酸石灰、木炭ニ加用シタル場合ハ堆肥ニ比シ二―五歩劣リ硫酸アンモニア、過磷酸石灰、硫酸加里ニ加用シタル場合ハ約二歩優レリ

十、「サナシタ」ノ肥効試驗 水稻ニ對シ(第三年)蔬菜促成栽培ノ蒸熟物ニ使用サレタル「腐熟サナシタ」及「サナシタ」ノ肥効ヲ堆肥ト比較センガ爲メニ大豆粕、過磷酸石灰、木灰ニ加用シテ試驗シ尙「サナシタ」及「腐熟サナシタ」ノ窒素ヲ標準區ノ大豆粕ト同量トシタル試驗區ヲ設ケ土管栽培ヲナセリ今三ヶ年ノ成績ヲ示サンガ爲メニ粗ノ收量ヲ標準區ヲ一〇〇トシタル割合ヲ以テ示サバ次ノ如シ

標準區	大正五年	大正六年	大正七年	平均
腐熟サナシタ少量區	一〇七	一〇六	一一四	一〇九
全 多量區	一〇九	一一九	一二三	一一七
堆 肥 區	一〇八	一一一	一一三	一一〇六
サナシタ少量區	一一九	一二五	一二六	一二〇
全 多量區	一二四	一一七	一二八	一二三
腐熟サナシタ區(大豆粕ヲ欠ク)	九一	七六	八三	

サナシタ 區(大豆粕ヲ欠ク)

九六 九一 九三

其ノ成績ハ「腐熟サナシタ」ハ「サナシタ」區ニ比シ生育ノ初期ハ大差ナカリシモ成熟期ニ於テ著シク劣レリ粗ノ收量ハ三ヶ年平均ニヨレバ「腐熟サナシタ」ハ窒素成分ヲ堆肥ト同量トシタル時ハ幾分優リ「サナシタ」原料「サナシタ」ヲ糞ト混シ其ノ割合ヲ蒸熟ノ際ノ踏込ト同様トシ且ツ窒素ヲ同量トスニ比シ著シク劣レリ、而シテ「腐熟サナシタ」ノ肥効ハ大豆粕ニ對シ八三%ナルニ「サナシタ」ハ九三%ヲ示セリ尙之レ等ノ成績ニヨリ考フルニ「サナシタ」ハ其ノ蒸熟作用中所含窒素分ノ比較的分解シ易キ部分ハ分解逸散スルナランカ

二、調査事項

- 一、堆肥成分調査 堆肥ノ堆積法ト成分ノ關係ヲ調査セントシ蠶渣ヲ堆積シタルモノ、蠶渣ニ過磷酸石灰ヲ加ヘタルモノ、蠶渣ニ土壤ヲ加ヘタルモノニツキ豫備調査ヲナセリ
- 二、水藻ノ肥料成分調査 前年度ハ老津村海岸産ノモノヲ調査シタルガ本年ハ海部郡海岸及同地方ノ池沼等ヨリ採集シタル藻類數種ヲ分拆調査セリ

三、依頼分拆

依頼分拆ハ年々多キヲ加ヘ本年度ニ於ケル其ノ件數ハ二百三十五件ニシテ内手数料免除ニ係ルモノ四十件

ナリ今供試品名並ニ件數ノ内譯ヲ示セバ左ノ如シ

供試品名	件數
魚肥類	一三
海產雜肥料	二三
骨粉	一
血粉	一五
皮粉	一
蛹粕	一五
絹紡績屑	二
雞糞	一
毛屑粉	五
大豆粕	一二
棉實油粕	一八
菜實油粕	九
亞麻仁油粕	四

胡麻油粕	二
蓖麻子油粕	四
向日葵油粕	一
麻實油粕	一
椰子油粕	六
落花生油粕	六
雜油類	四
米糠	一
醬油粕	一
味噌粕	六
ヒル粕	一
魚腸米糠肥料	一七
過磷酸石灰	九
木灰	五
配合肥料	四三

堆積肥料 一
 雜種肥料 一九
 合計 二三五

四、野鼠チブス菌ノ配布

本年内ニ於ケル野鼠チブス菌ノ配布面積並ニ町村名ヲ示サバ左ノ如シ
 碧海郡 矢作町 二十町步

五、施肥標準調査

本調査事業ハ第二年ニシテ漸次調査區域ヲ擴張セリ

- 一、分拆調査 幡豆郡土壤約六十種ノ化学成分ヲ調査シ東春日井郡土壤約八十種ノ分拆ニ着手セリ
- 二、土壤ノ現地調査及採集 本年度ニ行ヘルモノハ西春日井郡、中島郡ニシテ約百五十種ノ土壤ヲ採集セリ
- 三、ポット試験 左記各土壤ニ對シ三要素ノ補給量ヲ決定セントシ七區二十一個ノ「ポット」ヲ使用シテ試験セリ

第二年水稻作

幡豆郡 洪積土	幡豆郡 西尾町 大字堀ノ内	(砂質壤土)
同 沖積土	同 郡 横須賀町 大字萩原	(砂質壤土)
東春日井郡 洪積土	第一 東春日井郡 勝川町 大字勝川	(壤質埴土)
同 同	第二 同 郡 小牧町 大字小牧原新田	(壤土)
同 沖積土	同 郡 旭村 大字稻葉	(矢田川沖積土壤土)
本場 土壤 (對照用)		

第一年水稻作

丹羽郡 沖積土	丹羽郡 大口村 大字小口	(壤土)
同 郡 洪積土	同 郡 犬山町 大字犬山	(壤土)
葉栗郡 沖積土	葉栗郡 葉栗村 笹野	(壤土)
中島郡 沖積土	第一 中島郡 大和村 大字馬引	(壤土)
同 同	第二 同 郡 萩原町 大字萩原	(壤土)
同 同	第三 同 郡 千代田村 大字大矢	(壤土)
西春日井郡 沖積土	西春日井郡 山田村 大字平田	(壤土)

南設樂郡沖積土

南設樂郡東郷村竹廣

(壤土)

八名郡沖積土

八名郡下川村大字下條

(壤土)

同郡洪積土

同郡八名村大字宇利

(壤土)

本場土壤(對照用)

右ノ外大正五年度ヨリ施行セル土壤ニシテ第三年作ノモノアリ次ノ如シ

第三年水稻作

渥美郡沖積土

第一 渥美郡高師村大字野依

(梅田川壤土)

同

第二 同郡老津村

(壤土)

同 洪積土

同 郡野田村大字野田

(埴質壤土)

寶飯郡沖積土

寶飯郡豊川町大字當古

(壤土)

本場土壤(對照用)

第三年麥作

渥美郡洪積土

渥美郡高師村大字高師

(埴質壤土)

東春日井郡洪積土

東春日井郡小牧町大字外山

(埴質壤土)

畜産部

寶飯郡 洪積土

寶飯郡豊川町大字本野

(埴質埴土)

一、養 鶏

一、産卵増進試験(名古屋種ノ淘汰) 前年度ヨリ繼續施行スルモノニシテ名古屋種ノ改良ヲ以テ目的トス
本年度ニ於テハ新標準鶏三十八羽ヲ選出シ之レニ番號票ヲ附シ捕鶏産卵巢ヲ使用シテ其ノ産卵能力ヲ
調査セリ其成績ニ據ルニ第十三號鶏ノ九ヶ月間ニ百二十四個ヲ産卵セルヲ最多トシ第三十四號鶏ノ五
十五個ヲ最少トス更ニ大正七年十一月ヨリハ右試験鶏ヨリ優良ナルモノ十羽ヲ選抜シ一羽立鶏舎ヲ作
リテ優良鶏ノ蕃殖ヲ計レリ

二、飼料經濟試驗 左記ノ配合ニ依リ産卵肥肉健康等ノ状態ヲ比較試験セリ

一、供試鶏名古屋種十羽

一、運動場面積五坪

一、飼料配合率

第一區	米糠	大豆粕	鯨粕	種子粕	椰子油粕	青菜
	一七・〇					二五・〇

第二區	一三五	三、五	二五〇
第三區	一六、五	一、〇	二五〇
第四區	一三、五	三、五	二五〇
第五區	八、〇	一、〇	二五〇

六二

右成績ニ依レバ羽毛ノ色澤良好ニシテ元氣旺盛ナルハ第二區及第三區ニシテ産卵能力佳良ナリシハ第五區ナルヲ認メタリ本試験ハ供試鶏ノ都合ニ依リ六ヶ月間ヲ一期トシテ試験ヲ完了セリ故ニ今後更ニ詳細ナル試験ヲ行フテ正確ナル試験ノ成績ヲ擧ゲントス

三、肥育試験 廢鶏利用ノ目的ヲ以テ生後六十日前後ニ於テ去勢シ更ニ百日間之レヲ飼養シテ強制肥育法ヲ行ヒ其肥育歩合肉質ノ硬軟ヲ比較試験セリ

右ノ成績ニ依リニ發育中故障ナキモノハ肥育中増肉極メテ順調ナルモ發育中ニ於テ多少ナリトモ胃腸ニ故障ヲ生シ營養分攝取不調トナリタルモノハ肥育中却テ減量シテ其効果ヲ認メザリキ而シテ飼料ニ於テハ柔軟ナルモノヨリハ寧ロ之レニ多少ノ硬餌ヲ與ヘ更ニ消化促進ノ爲メ酵醱ヲモ加與スル方成績良好ナルヲ認メタリ

四、種禽ノ蕃殖並ニ種禽種卵ノ配付 最モ優良ナル種禽ノ繁殖ヲ行ヒ一般當業者ノ需要ニ應ジテ種禽、種卵ノ配付ヲ行ヘリ本年度ニ於テ配付シタル數量左ノ如シ

種名	種卵		種禽	
	拂下數量	全人員	拂下數量	全人員
古屋	一、二一〇	六九	六	一
白色レグホン	二〇七	一六	一	一
横斑アリマスロツク	一七三	一七	一	一
黒色ミノルカ	一三六	一一	一	一
銀色ハンバーク	八七	八	三	一
白色ワイアンドット	二六	四	一	一
アンダルシヤン	一七	二	三	一
褐色レグホーン	一八	二	三	一
三河	一二	一	一	一
吐綾鶏	二七	四	一	一
合計	一、九二三	一三四	一五	四

委託試験

六三

左記ニケ所ニ本場試験ノ一部ヲ委托シ嚴密ナル監督ノ下ニ之レヲ行ヘリ

六四

- 一、碧海郡農會
- 一、中島郡農會

二、養豚

農家副業獎勵並ニ自給肥料生産ノ目的ヲ以テ種豚ヲ養成シ仔豚ノ拂下ヲ行ヘリ本年度ニ於テ分娩セシ頭數並ニ配付セシ數量左ノ如シ

種類	分娩頭數	拂下頭數	同人員
パルクシヤ	八	三	三

雜ノ部

一、出張ノ種類

本年度中場員出張左ノ如シ

出張ノ種類	回数	數
農事講話	六	六四

農事實地指導 四六

同 調査 六一

同 視察 三九

病害虫豫防驅除監督 六

品評會審査用務 三〇

其他 五五二

合計 七九八

質問應答 百九十三件

内 清洲 八

八十七件 安城 十

二、印刷物

本年度中發行セシ印刷物左ノ如シ

園藝彙報	一萬〇六〇部
大正六年度業務功程	四百部

六五

農具寫真	八百四十坪
田植の話	百五十部
農事指針	八百部
夏作試験説明	二千枚
農學教本	五百部
米麥試驗成績撮要	千部
愛知の蔬菜	八百十部
水稻品種系統調査表	三千枚
水稻原種配付注意事項	五十枚
果樹の肥料	千部
標本品説明表	三百五十六枚

三、文書受發

受	八千九百七十四件	清洲
内	五千八百八十二件	清洲
	三千〇九十二件	安城

發 六千六百八十四件

内	三千五百九十九件	清洲
	三千〇八十五件	安城

四、參觀人

二萬〇七百五十九人	清洲
内 一萬四千四百五十四人	清洲
六千三百〇五人	安城

五、練習生、見習生ノ養成

農業技術普及ノ目的ヲ以テ練習生及見習生ヲ置キ専ラ種藝園藝畜産事業ニ關スル實地ノ技能ヲ習熟セシメ作業ノ繁閑ニ應ジ隨時學理ノ講演ヲナシ其應用ニ努メツ、アリ本年度採用セシ練習生十五名見習生二十五名アリ

六、職員

場長 山崎延吉

大正七年十二月二十八日退職

大正七年十二月十三日就職

技 師
 同 同
 技 手
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 小西 藤 乾 小
 內 藤 源 西
 前 田 實 龜
 市 川 太郎
 納 富 金 作
 水 野 夏 一
 高 橋 重 雄
 新 家 積 藏
 高 橋 廣 治
 足 木 廣 治
 岩 槻 信 與
 柘 植 權 治
 兒 島 原 米
 澁 田 彌 三
 鈴木 孝 之

大正七年十一月二十日退職

大正七年十二月十日就職

大正七年五月二日就職

大正七年四月九日就職

大正七年十一月十四日就職

同 上

同 上

同 上

大正八年三月卅一日就職

同 上

大正七年十一月十四日就職

同 上

大正七年十二月十八日就職

大正八年三月三十一日就職

同 同 同 同 同 同 同 同 助 同 同 書 同 同
 手 記
 若 杉 恒 平 則 武 靜 次 松 本 保 吉
 湯 淺 彦 次 郎 服 部 義 夫 若 山 康 彦
 久 保 田 繁 一 尾 崎 五 平 治
 加 藤 秋 三 上 林 浦 三 郎
 伊 藤 作 治 近 藤 亮 平
 加 古 耕 一 丹 羽 孝 平
 三 木 俊 夫
 六九

1421
134

大正八年五月十八日印刷

大正八年五月十八日印刷

大正八年五月廿二日發行

愛知縣立農事試驗場

愛知縣西春日井郡西枇杷島町中島一番地ノ四
印刷者 武藤藏之助

七〇

終

